

Suma Tomogaoka 通信

兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部

令和5年度 第4号 12/21

1年次 カタリ場 (産業社会と人間)

12月14日(木)、41回生が「こうべカタリ場」の出張授業を受講しました。初めは緊張していた生徒たちでしたが、大学生の「先輩」たちの明るい挨拶や、対話の中でどんどん自分を引き出され、打ち解けていきました。いくつかの班に別れ、それぞれの班に配属された「先輩」とグループワークを行いました。それぞれの班担当の「先輩」に話を聞いてもらい、また勇気もらおう場面もありました。授業の最後にはこれからの生活でがんばりたいことを「先輩」と約束しました。生徒たちから見て身近なロールモデルとして、大学生の「先輩」とふれあい、将来の自分の像とも重ね合わせることができ、大きな刺激になったようです。今回の授業で感じたこと、決意した気持ちを忘れず、それぞれの目標達成のために高校生活を送ってほしいです。



カタリ場



【生徒の感想】より

- 先輩方のお話の中で、印象に残っているものがあります。先輩は、物事や人間関係で悩んだとき、「なんで自分だけ」や「仕方ない」などと思っていたと話していました。上手くいかないときは、周りの原因や影響もあるけど、自分にも直さなくてはならないところがある。「誰かのせいでも、自分のために努力」という言葉がとても印象に残りました。
- 話し手のお方が、これまで溜め込んできた思いを周りに相談し、自らの弱い部分を見せたことで、友人や家族とより良い関係を築くことができたのだと伝わってきました。周りに相談することが苦手な私にとって、とても共感し勇気づけられる話でした。
- 大学生の先輩方の話を聞く前は、私は今の自分に満足していて、このままの私で大学生になるのだと思い込んでいました。しかし、先輩の話を知っていると、高校生活でくじけそうになる場面や困ったことが必ず起こることがわかりました。その際には、他人に頼ることなく自分で決断し、目標に向かって努力し続けることが大切であるとわかりました。

1年次 NIE 講演会 (産業社会と人間)

12月15日(金)、朝日新聞阪神支局より勝亦邦夫記者をお招きし、NIE講演会を行いました。勝亦記者からは、まず新聞の役割や記者の仕事について説明があり、その後「物事の多面性」をテーマにお話していただきました。具体例として「自然エネルギー」、「ふるさと納税」、「病院の統合」という3つの話題を提供していただき、新聞記事を含めた資料を踏まえて、複雑な問題を読み解いていきました。

今回の講演会を通して、政策決定の背後にある多様な意見や、複数の視点からアプローチすることで深く理解できることを学べたと思います。

*NIE = Newspaper in Education
(学校などで新聞を教材として活用すること)



1年次 クロスカリキュラム班別発表

12月15日(金)の2時間目にクロスカリキュラムの班別発表を行いました。今年は以下の6つのテーマです。

1. 数学を使ってスポーツを解く
2. 統計データを通して、神戸市を分析しよう。
3. フードシステムをめぐる問題を考えよう。
4. A world of curry ~「融合と創造」進化し続ける食文化~
5. 多井畑の里山を考えよう - 私たちの生活と竹林 -
6. 雨が〇〇降っている? ~オノマトペから考える日本語と外国語の違い~



テーマごとに分かれて約1ヶ月間それぞれ活動を行ってきました。これまでの取り組みをまとめ、発表するのは緊張したと思いますが、他の班の発表を聞くことで自分たちとの違いや改善点が見えてきたのではないのでしょうか。1月末にある総合学科発表会で、もう1度発表することになっています。今回もらった他の班からの意見やアドバイスを参考に、さらに良い発表になっていることを期待しています。

2年次 課題研究 探究の発展的な取り組み

【令和5年度高大連携課題研究合同発表会 at 京都大学】

11月3日(金)、京都大学国際科学イノベーション棟西館5階において高大連携課題研究合同発表会がおこなわれました。記念ホールでの京都大学大学院農学研究科の北島薫教授による記念講演の後、ハワイエにて、2年5組の八尾 秀翔さんが、質疑応答含めた15分間のポスター発表を行いました。ポスター発表後のグループ討議も通して、京都大学の先生方、大学院生、大学生、他校生徒からアドバイスや講評を頂き、大きな刺激を受けた一日となりました。頂いた貴重なアドバイスをもとにして、今後の研究を発展させていって欲しいと思います。



2年次 課題研究 探究の発展的な取り組み 続

【中・高生 探究の集い 2023】

12月16日(土)、関西学院高等部の西宮上ヶ原キャンパスにおいて「中・高生 探究の集い 2023」が開催されました。本校からは2年4組の前田 雛璃さんが「コンテスト部門」でスライドを用いた口頭発表、2年1組の棚野 陽葉さんがオープン部門でポスター発表を行いました。午後のプログラム「交流会」では、全国各地から発表に来た学生の皆さんと親睦を深めることができました。大学の先生方からの貴重なアドバイスや、他校の生徒の皆さんとの交流を通して多くの刺激を受けた一日となりました。

【生徒の感想】

- コンテスト部門では堂々と発表でき、ほとんどの質問に答えられてよかったです。交流会では、自分の研究の良い側面ばかり見る傾向にあるけど、誰の「善」は誰かの「悪」だと気づくことができ、提案の実現可能性を模索する足掛かりになりました。また、東京や熊本など他の地方の高校生と考えを共有する貴重な機会でした。
- 自分の発表をほかの学校の方に聞いてもらえたことが嬉しかったし“なるほどな”という意見を頂きました。何より、他校の生徒との交流がめちゃくちゃ楽しかったです。



上：前田さん、下：棚野さん

【甲南大学リサーチフェスタ 2023】

12月17日(日)、本校においてオンライン(zoom)で「甲南大学リサーチフェスタ 2023」が行われ、本校から2年次の生徒22名が参加し、スライド共有で課題研究の成果を発表しました。質疑応答を含めて合計10分の持ち時間で、午前にも発表2回、午後にも発表3回、合計5回の発表をやり遂げました。自分の発表だけでなく、聴講者、座長(司会進行)、審査員の役割も務め、加えて通信機器の不具合もあり、16:40の閉会式終了まで怒涛のような1日でしたが、最後までやりきりました。積極的に質疑応答に参加する頼もしい姿が印象的でした。

【生徒の感想】

- 今後の研究計画について話したら、他校の先生から“それをしたらすごく面白い研究になるよ”とほめて頂きうれしかったです。
- 午前の発表で結構突っ込まれたので、午後の発表に向けて質疑応答の対策をします。
- 疲れました。でも5回の発表は意外とあっという間でした。



リサーチフェスタ参加生徒

3年 クロスカリキュラム

12月4日のクロスカリキュラムの授業で3年間の探究活動がすべて終了しました。2学期末考査終了後に総合学科での3年間の学びの振り返りアンケートと感想を書いてもらいました。

【総合学科で私が獲得した能力】

- 私は課題研究など様々な発表を経て、プレゼン力などが向上し、人前で話す楽しさを学びました。自分の意見を相手の批判意見なども想像しながらする発表は私をとっても成長させてくれました。また、突然の1分間自己PRなども授業にあるため、アドリブ力や常に自分の長所を考える機会があり、長所を伸ばそうと思ったきっかけにもなりました。
- 私は3つの能力をのばすことができました。1つ目はプレゼン能力だ。3年間で何度もプレゼンを繰り返すうちに、プレゼンへの苦手意識を減らすことができ、上達も感じた。また、1年生の最初にプレゼンに関する講演があったので、その事が3年間のプレゼンの基礎になったと思う。2つ目は情報収集力だ。論文やその他の発表における情報収集で、どのような情報が必要か、どのような情報が信用できるかを考えることができた。現代社会ではICTの発達によって、様々な情報が行き交っているため、その情報の取捨選択に役立つと考える。3つ目は課題解決力だ。3年間の学習で、自分には大きいと感じる問題や課題が出された。その都度意欲的に取り組むことで、自分が納得いく結果を出すことができた。難しく感じても、未知の問題に取り組む力が身についたと思う。
- 探究活動を通じて、情報収集力と文献読解力を養うとともに、問題解決能力を向上させました。研究を進める中で、信頼性の高い情報源を見極めるスキルを身につけ、多岐にわたる情報を網羅的に取得できるようになりました。同時に、様々な論文を読解することで、専門的な知識を深めました。適切な引用や参照の仕方を学び、論理的な思考を重視するようになりました。これにより、研究の基盤を確固たるものとすることができました。課題研究を通して培った問題解決能力は、複雑な課題に対して柔軟で効果的なアプローチを見出す力を意味します。研究過程で遭遇した様々な課題に対処し、新たな視点からアプローチを模索することで、自らの創造性と発想力も向上させました。結果として、高校の課題研究を通じて磨かれた情報収集力、文献読解力、問題解決能力は、大学や将来の職場においても活かされると確信しています。これらの経験から得たスキルを活かし、新たな環境で積極的かつ効果的に貢献していきたいと考えています。



「カレーは文化 世界と日本「食」の融合と創造」発表と試食会の様子

【キャリアに対する考え】

○私は大学で留学を考えています。ただアメリカやカナダに行きたいということではなく、プレゼン力、忍耐力を活かしてたくさんの人と話し、つながりを持ち、生き抜くためにも選択肢を広げて将来を見据えた勉強を始めたいと考えています。総合学科での様々な経験は自分の力になったということをとっても実感していて、ただ高校生活を楽しむだけではなく、将来に必ず行かせるような知識と体験を得ることが出来ました。総合学科で本当に良かったと思います。

★すべてのクロスカリキュラムの活動記録は総合学科発表会の展示部門会場にて掲示・発表予定です。